



2014年11月27日 第2564例会 週報2353号

富田林ロータリークラブ

RIテーマ「ロータリーに輝きを」

◆会長：豊岡 敬 ◆幹事：橋本竜也 ◆会報委員会：北岡 満

◆創立：1962年6月6日 ◆例会日：毎週木曜日12:30-13:30

◆例会場：富田林市民会館（富田林市粟ヶ池町2969-5）

◆事務局：富田林商工会館2階（富田林市粟ヶ池町2969-5）

（月・火・木・金10時～16時）

<Tel> 0721-26-0133 <Fax> 0721-26-0443

<E-mail> kikusui@abeam.ocn.ne.jp

<URL> <http://tondabayashi-rc.org/>



本日のプログラム

- ▶ 今週の歌；「四つのテスト」
- ▶ 3分間スピーチ；道田憲逸君
- ▶ フォーラム

今週の歌

四つのテスト

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

ビジター・ゲスト歓迎の歌

Welcome to our club meeting
Welcome our many wonderful friends
今日の一時 どうぞごゆっくり

出席報告

例会日	会員数	出席者	MU	出席率
11/20	38(7)	20(2)	1	63.64%
11/13	38(7)	23(1)	0	71.88%
11/6	38(7)	20(1)	2	68.75%

()内は出席免除会員

今後の予定

- ▶ 12月4日(木) 卓話；顯證寺(けんしょうじ) 副住職 田毎(たごと)様
- ▶ 12月7日(日) 親善バレーボール大会
- ▶ 12月11日(木) 3分間スピーチ；橋本健介君
- ▶ 『音楽会』 ソプラノ；北野智子様 ピアノ；吉田衣里様
- ▶ 総会（例会後）
- ▶ 有志忘年会 かに道楽 道頓堀東店 18時～
- ▶ 12月14日(日) 河内長野東 RC30 周年記念例会
- ▶ 12月18日(木) 年内最終例会
- ▶ 3分間スピーチ；藤野正勝君 フォーラム「半年間の評価」
- ▶ 12月23日(火)～12月27日(土) インターアクト海外研修（マレーシア）
- ▶ 2015年1月8日(木) 新年初例会 卓話；富田林市長 多田利喜様

委員会報告

●第14回富田林 RC 旗争奪軟式野球大会…辰巳泰啓君

11月8日に豊岡会長の代理で、ロータリー杯少年軟式野球大会の決勝戦ならびに閉会式に参加して来ました。

決勝戦は地元富田林の新小トータスと堺の熊野(ゆや)ライオンズの2チームで行われ、新小トータスが11対7で勝ち、優勝しました。地元のチームが優勝するのは10年ぶりだそうです。

決勝は2時間15分と少年野球にしては非常に長い試合になりましたが、両チームとも一生懸命頑張りました。



●親睦委員会…遠藤特一君

家族親睦会のご案内です。

11月20日(木)18時～ステーキハウス千一夜で家族親睦会を開催します。

これは移動例会ですので、この日のお昼の例会はありません。

12月11日(木)18時～かに道楽 道頓堀東店で「有志による忘年会」がごございます。

この日はお昼の例会があります。

会長の時間…豊岡 敬会長

先程、豊田会員から報告がありましたが、元財団奨学生であった赤坂さんが、シリアで活躍されているというお話を聞いて、ビックリしました。以前はタイ・ミャンマーの国境で活動をしているとのことでしたが、現在は全世界の関心を集める、危険なシリア赴任ということで、心配はしますが、人道支援のために頑張って頂きたいと思います。

先週は、私はベトナムに行っておりまして、例会はお休みをさせて頂きました。堺市の経済交流ミッションの団長としての訪越であります。ベトナムへの日系大企業の投資は一段落しており、その代わり日系の中小企業の進出が増えているそうです。ベトナムは、タイや中国と違い工業化した時期が遅く、裾野産業が全然ありません。ですから、ベトナムに進出したメーカーさんも部品や材料の殆どを輸入に頼っているということです。そのことがベトナムの産業の弱点になっているため、ベトナムも日本の基盤技術を支える中小企業の誘致に力を入れているようです。また、中国での人件費が上がっていることから、賃金の安いベトナムに出てくる中小企業も多いようです。チャイナプラスワンの行き先としてベトナムが選ばれているようです。日本の中小企業向けのレンタル工場も増えています。確かに、ワーカーさんの人件費は安いのですが、管理職やスタッフの賃金は諸外国並みに高いようです。また、レンタル工場も㎡あたり\$5.5~6と日本並の相場となっており、ワーカーさんの人件費以外は結構高いなという印象でした。人手を多く必要とする仕事ならとにかく、そうでないと中々難しそうです。

今回訪れたのは、ホーチミン市だけだったのですが、ホーチミン市の発展はすごいです。ホー

チミン市で一番高いビルは、68 階ありまして、アベノハルカスよりも低いのですが、階数でいえばベトナムのビルの方が高いということでありました。若い人が多いので、これから益々発展が期待できる国であります。

10月25日・26日には、第2640地区大会が開催されました。二日目には、富田林クラブの皆さんにも多数出席して頂いたのですが、初日の選挙人会議に会長・幹事で出席をしてきました。当初、選挙人会議の開催は予定されていなかったのですが、地区大会直前になって、小沢RI会長特別代理の指導があり、本来開催しなければならない選挙人会議の実施が実現した訳です。第2640地区にとっては初めてとなる歴史的な快挙と言えるでしょう。選挙人会議での一番の重要事項は、ガバナーノミニーの選考方法でありましたが、圧倒的多数で、郵便投票による選挙が採択されました。今日の地区混乱の原因は、米田年度に採択された現職ガバナーが指名する指名委員による指名委員会制度にありますので、今回郵便投票による選挙が採択されたことは、地区正常化に向けての大きな一歩となったのではないかと思います。

週報にも載せて頂いたのですが、10月30日(木)に高石ロータアクトクラブの例会に参加させて頂きました。羽衣学園高校にて開催された「ハロウィーン例会」でして、羽衣インターアクトクラブのメンバーに参加して頂いての仮装ハロウィーンパーティーでは、卒業後ロータアクターになってもらうようにPRをする場となっています。ハロウィーンパーティーを活用することで、楽しく、そしてロータアクターのリクルートにも使えることで、好い作戦だと思いました。

11月9日(日)には、富田林ボーイスカウト第一団の50周年記念式典が、富田林小学校の体育館でありました。結団準備委員会が発足したのが、昭和38年6月ということで、私が生誕した時と同じですその当時のスカウトのメンバーは全て還暦を迎えたと聞き、ボーイスカウトの歴史の長さを感じてしまいます。

長期派遣学生として、富田林高校の石田萌々葉さんをオーストラリアに派遣をしています。ですから、今度はオーストラリアからの学生を富田林で引き受けないとならないと思っていました。先日の地区大会の時に、地区委員長の山田さんに聞いてみたのですが、石田さんの派遣はワンウエーで、富田林ロータリークラブでオーストラリアからの学生を引き受ける必要はないそうです。しかしながら、クラブとしては借りがありますので、何かあれば協力をお願いしたいということでした。



卓話・・・大元 相君「中小企業の後継者問題について」

私の実家は典型的な中小企業でした。町工場で大手メーカーの2次下請け3次下請けを行っていました。実家の事業は、今は、存在しません。その理由は後継者を育てなかったからです。国の報告によれば、中小企業の95.1%の経営者が事業を継続したいと思っています。

その一方で、次の世代へ事業を引き継ぐことを希望せず、廃業を希望する経営者も4.9%います。当然のことですが、債務超過状態に陥っている企業では、廃業を希望する理由として「会社の経営状況が厳しいため」とする割合が比較的高いです。もっとも、財務状況が良い企業ほど「適切な後継者が見当たらない」ことを廃業の理由とする企業は多くなりますが、債務超過にない企業でも「市場の先行きが不透明である」という理由は多く、廃業理由として「適切な後継者が見当たらない」企業と「市場の先行きが不透明である」という企業の割合は、財務状況にかかわらずほぼ一定であります。

事業を承継させたいと考えている経営者は全体の95.1%。そのうち、後継者を既に決めている企業は44.0%、後継者を決めてはいないが、候補者がいる企業は37.1%、後継者の適当な候補者もない企業が18.9%となっています。財務状況の特徴を確認してみると、事業承継を希望する企業のうち、57.0%は資産超過、28.5%は債務・資産が均衡していて、14.5%の企業は債務超過状態であり、業況が厳しい中でも事業を継続させたい、あるいは事業をやめられないと思う企業があることもうかがえる。多くの中小企業の経営者は大企業の経営者と違って、主要株主を兼ねており、経営と所有の分離が十分に行われていません。また、金融機関からの借入に対する個人保証が多いことなども、事業を第三者に承継する場合に障害となる可能性があります。さらに、廃業するとしても様々なコストがかかります。これらの点が、事業をやめたいと思っている場合や、債務超過に陥っている場合でも事業を続けなければならない場合において、その主な要因として考えられるのではないのでしょうか。しかしながら、こうした業績が低迷している企業が事業承継を行っても、結果としてうまくいかないことも多いのが実情です。

事業の引継ぎを希望している企業の中で、後継者を「既に決めている」とする企業の割合は44.0%です。年齢層としては、55歳以上では48.9%と半分近くの経営者が後継者を決定している一方で、55歳未満では24.2%であり、当然ながら高齢層になるほど後継者が決定している企業の割合が高いです。ただし、経営者が55歳以上の企業でも半分以上の企業が後継者を決めていません。どのような後継者を選ぶとしても一定の課題が生じることから、専門家への相談や社内体制の整備など、実際に後継者決定を行う際に直面すると考えられる課題を早めに確認し、余裕をもった着手を行い解決しておくことが必要です。

また、具体的な後継者としては、自分の子息・子女が71.3%であり、その他の親族、娘婿、兄弟姉妹、配偶者も合わせると親族の候補者が83.9%を占めています。ここからは、既に後継者を決定している企業においては、後継者に選ばれるのは代表者の親族である、という特徴があります。多くの中小企業経営者には単なる経営能力だけでなく、企業そのものの所有権（経営者の持株）の承継も必要とされることが、その主な要因と言えるのではないかと。ただし、近年では中小企業においても現経営者の血縁以外の第三者による事業承継が見られるようになってきています。一方で、親族という理由だけで後継者を決定づけているわけではない傾向もあります。後継者が決定している企業の決定理由は、「役員・従業員の理解を得ることが可能」とする企業が57.9%を占め、それに「事業を成長させることが可能」とする企業の割合が42.3%と続き、「他に適当な人材がない」とする11.9%を大きく上回っています。これらの理由と後継者の71.3%

が子息・子女であることを併せて考えると、単に自分の子供だからというだけでなく、①中小企業では親族の方が会社内の理解を得やすい、②親として自分が企業経営の帝王学を目の前で見せてきたことに対する期待がある、等の理由も考えることができます。

上記国の報告より中小企業の後継者問題にほんの少し触れましたが、中小企業の後継者問題は10年以上も前から指摘されていることです。経済のサービス化やネットの登場など事業所の構成比率も以前より大きく変わっています。若者がどんどんとサービス業に流れる傾向もあるものの、今ある事業所がなくなっていくのは経済の低下、ひいては国力の低下にもつながると言われます。これから益々中小企業の後継者の問題は国の根幹の問題の一つとなり、マスコミを賑わしていくことが必至であると思われれます。

ニコニコ

- ☺豊岡君 先週は欠席させて頂きました 藤野エレクトありがとうございます
グランドホテル二葉様 会場ありがとうございます
- ☺橋本竜也君 猪阪さん、おいしい昼食ありがとうございます
坂ノ上さん、来週よろしくお願ひします
- ☺豊田君 藤野次年度会長様、写真ありがとうございます
- ☺堀野君 早退おわび
- ☺藤野君 10月、富田林市チャリティコンペでニアピン頂きました
あわや三度目かというくらいの30cm未満につきました
- ☺下野君 どうにか元気にしております タクシー代のお礼
- ☺坂ノ上君 来週お待ちしております
- ☺柳本君 欠席おわび

小計 33,000 円

月例ニコニコ

- ☺森井君 職業奉仕記念日
- ☺豊岡君 奥様誕生日、結婚記念日
- ☺柳本君 職業奉仕記念日

小計 20,000 円

合計 53,000 円

累計 955,611 円

MAKE UP

- ★富田林こども作品展（11月16日）豊岡君
- ★富田林バスレーム姉妹都市協会英語弁論大会（11月16日）豊岡君



2014年11月20日 第2563回 例会記録

●移動例会 家族親睦会

場所；ステーキレストラン千一夜

18時～

出席者；会員20名、ご家族4名、事務局



会長の時間・・・豊岡 敬会長

今回は、坂ノ上会員のお店、「千一夜」さん、にての移動例会を開催させて頂きました。坂ノ上会員、本当にありがとうございます。

移動例会の前に、第一回の指名委員会を開催させて頂きました。指名委員会の委員長は、元会長であります堀野先生にお願いをしています。委員会のメンバーは、千田前会長、中畑前幹事、藤野会長エレクト、瀧理事、豊田会員、橋本英樹会員、西澤会員、そして現会長の豊岡です。12月11日（木）の例会終了後に総会を開催致します。総会では次々年度の会長を指名させて頂きますので、宜しくお願い致します。

来週の例会は、フォーラムが予定をされておりまして、地区の状況についてのフォーラムとなります。先日の地区大会において、ガバナーノミニーの選任方法が変わり、地区正常化に向けた第一歩を踏み出したように感じます。私もクラブの会長に就任するまでは、地区の問題についてよく知りませんでした。多分会員の皆さんも詳しくはご存知ないと思います。このタイミングで、過去において2640地区で何が起こったのか？をその当時の会長さんや、地区の事情に詳しい会員さんにお話をさせて頂ければと思います。

11月16日（日）に「こども作品展表彰式」と姉妹都市協会の「英語弁論大会」に梯子で出席しました。「こども作品展表彰式」では、初めて富田林ライオンズクラブの会長さんとご一緒させて頂きました。ライオンズの会長さんは、辻さんという方です。実は、私は20代の頃、半年だけ大阪狭山青年会議所に在籍していたことがありました。その時の理事長が辻さんでした。大阪狭山JCのメンバーであった二人が、富田林のロータリーとライオンズの会長に同じ年度に就任していましたので、あまりの奇遇にびっくりしました。

「英語弁論大会」の方は、「こども作品展表彰式」で中座しておりましたので、実際にはスピーチを余り聴くことができませんでした。審査員さん達の講評では、高校生の部のスピーチのレベルの高さに絶賛でした。高校の部で最優秀賞を受賞されたのは、富田林高校在籍の川口真奈さんでした。川口さんは、現在青少年交換の長期派遣学生でオーストラリアに留学をしている、石田萌々葉さんの友人ということでした。

川口さんのスピーチの原稿を読ませて頂きました。彼女のスピーチでは、我々一般市民が国際友好のためにできることが何かあるという提言でした。実にしっかりとした考えであると思いました。彼女の将来の夢は、美しいハワイで仕事をする事だということでした。川口さんのような、若い人たちが、世界で活躍してくれることを期待したいです。